

学生エンゲージメントを高める

このセッションでは、

学生と交流したり、

コースの教材に取り組むように促したり、

読んだリソースに印を付けたり、

新しいリソースを提案したり、共同でコース資料に注釈を付けたりするなど、さまざまなツールを紹介します。

学生は、

[チェック済とマークする]をクリックして、閲覧したリソースに印を付けることができます。

これにより、後で読書リストをフィルタリングし、

完了としてマークしたリソース、または、未完了リソースを探すことができます。

このツールは、進捗状況を追跡し、

貴重なフィードバックを得るのに役立ちます。

Analyticsで、読書を完了した学生の数を確認できます。

学生はリストのリソースを提案することもできます。

提案を追加するには、学生は[コレクション]ページに移動し、

アイテムを見つけ、アクションメニューで[このアイテムを提案]を選択します。

学生は適切な読書リストを選択し、

メモを追加し、

次に、[提案を追加]をクリックします。

リストに戻ると、アイテムが[提案]パネルに表示されます。

ここから、

アイテムを選択し、それをリーディングリストにドラッグして、リストに提案を追加できます。

学生はまた、他の学生と相談しながら、

読書リストのPDFに注釈を付けることによって

コース資料に取り組むことができます。

将来的には、さらなるリソース種別がサポートされる予定です。

機関が設定すれば、

アイテムをクリックすると、

パブリック注釈を有効または無効にするオプションが表示されます。

有効にすると、教員と学生は共同でファイルに注釈を追加できます。

コメントアイコンをクリックして、すべての注釈を表示します。

人物アイコンは、この注釈がコースの教員によって作成されたことを示します。

テキストをクリックして、資料内で注釈を表示します。

また、

注釈のテキスト

または学生の名前で注釈を検索することもできます。

教員は、学生のコメントを削除したり、プライベートに設定したりする権限があります。

プライベートの場合、その学生だけが自分のコメントを見られます。

新しいコメントを追加するには、

注釈を付けるテキストの部分をハイライトし、

コメントアイコンをクリックし、

コメントを入力します。

コメントは [パブリック] または [プライベート] にすることができます。

これを使用して、学生にコメントを追加したり、

質問やコメントに答えることができます。

ここまで、学生とのやり取りの方法をいくつか紹介しました。

ご参加ありがとうございました！